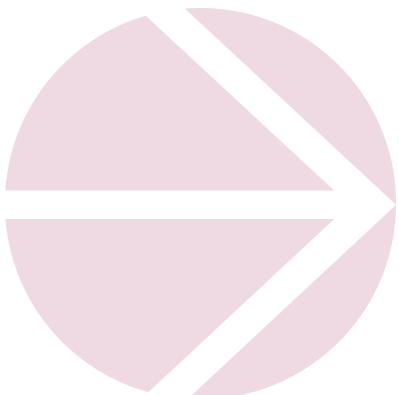


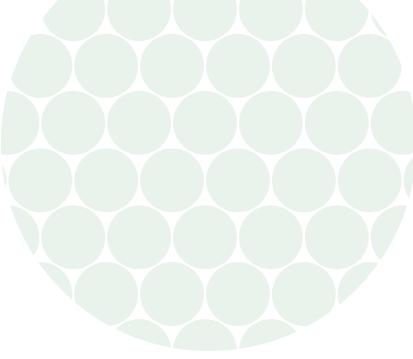


平成28年度  
和歌山県立医科大学  
地域医療支援センター  
活動報告書



和歌山県  
地域医療支援センター  
**C M S C**  
COMMUNITY MEDICAL SUPPORT CENTER  
[www.cmsc.jp/](http://www.cmsc.jp/)





# Contents

■ はじめに	P2
■ 業務内容	P3
■ 年間スケジュール表	P4
■ 医師不足状況等の把握・分析	P8
・和歌山県内の医療情報の分析	
■ 医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援	P10
・地域医療学講座・医師配置	
・地域医療機関医師適正配置検討委員会	
・遠隔医療支援システム	
■ 医師のキャリア形成支援、地域医療従事医師の養成	P15
・AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース	
・新入生説明会	
・キャリア形成支援セミナー	
・地域医療枠セミナー	
・和歌山県副知事表敬訪問	
・病院見学（県民医療枠）	
・病院研修（地域医療枠）	
・キャリア形成計画（ヒアリング）	
・紀伊半島地域医療連絡協議会	
・県民医療枠セミナー	
・医師臨床研修指導医講習会	
・ICLS 講習会	
・県民医療枠研修	
・家庭医療専門医（総合診療専門医）後期研修プログラム	
・プライマリ・ケアセミナー	
・プライマリ・ケア勉強会	
・和歌山研修ネットワーク事務局の運営	
・選択制臨床実習の支援及びスキルスラボの充実	
■ 情報発信と相談への対応	P32
・和歌山県内専門研修プログラム合同説明会	
・高校訪問	
・オープンキャンパス	
・出前授業	
・地域医療学講義	
・報告書等の作成	
・ホームページ・Facebook の運用	



# はじめに

和歌山県立医科大学  
地域医療支援センター  
センター長・教授

上野 雅巳



平素より当センターの活動と地域医療枠・県民医療枠学生、研修医の教育にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

和歌山県では、人口10万人当たりの医療施設従事医師数は277.4人(平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査)と県全体では全国平均を上回っていますが、実際は約55%の医師が和歌山市に集中し、地域偏在や診療科偏在が起こっています。

本県では、平成20年より緊急医師確保対策として学生の定員増が認められ、和歌山県立医科大学医学部募集枠を拡大し、卒業後9年間へき地医療拠点病院等を中心に研修を行う「地域医療枠」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠」の学生が誕生し、1期生が今年度から地域で活躍してくれています。

当センターは、平成23年4月に和歌山県からの委託により和歌山県立医科大学に設置され、これまで試行錯誤を重ねながら、「医師の地域偏在の解消」、「地域医療枠及び県民医療枠入学生のキャリア形成支援」に全力で取り組んできました。

今年度においては、平成26年に構築した遠隔医療支援システム（インターネットを利用したテレビ会議システム）の更なる活用を図るため、システム端末をへき地診療所等に試験的に設置し、遠隔外来のモデル実施を行いました。また、平成26年度より開始したプライマリ・ケア勉強会についても、医師向け、学生向けと2部制で行うなど更に内容の充実を図りました。医師向けの勉強会では、遠隔医療支援システムを利用しての配信も行い、現在県内の病院で勤務している地域医療枠医師も積極的に参加してくれています。更に、今年度からの新しい取り組みとして、県内の医療や地域の特性について理解を深めてもらうため、県民医療枠1年生を対象に「県民医療枠研修」を実施しました。今後も、当センター教職員一同力を合わせ、彼らのキャリア形成支援を行いたいと考えています。

また、当センターの最終目標は「地域の住民の皆さんのが医療に困らないための仕組みづくり」だと考えています。高齢化が進む本県にとって、救急医療や在宅医療を担う若い医師の確保は必須です。そのために医師の育成とともに、地域のニーズを踏まえた医師の配置システムづくりや、地域の医療機関との連携にも力を注ぎたいと考えています。

今後も和歌山県の医療の発展に貢献したいと考えております。皆様の引き続きのご支援、ご指導をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成29年3月

# 業務内容

## 医師不足状況等の把握・分析

- 医師配置状況の把握
- 講演会の開催

## 医師不足医療機関の支援、 緊急時医師派遣・若手医師支援 (地域医療学講座)

- 若手医師が勤務する医師不足医療機関への指導医派遣
- 医師不足医療機関への支援(緊急的診療応援)
- 地域医療機関医師適正配置検討委員会の運営
- 遠隔医療支援システムの運用
- 遠隔医療の推進

## 医師のキャリア形成支援・ 地域医療従事医師の養成

- 県民医療枠、地域医療枠新入生説明会の実施
- 県民医療枠、地域医療枠学生対象セミナーの実施
- 県民医療枠、地域医療枠便覧及びキャリア形成プログラム冊子の作成
- 県民医療枠、地域医療枠6年生進路面談及び知事表敬訪問の実施
- 病院研修

県民医療枠学生：県内中核病院見学・報告会及び県民医療枠研修を実施  
地域医療枠学生：自治医科大学及び近畿大学医学部和歌山県地域枠学生との合同研修を実施  
(1泊2日、実習ありの場合は2泊3日又は3泊4日)

- 地域病院実習(6年生)の支援
- 三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会への参加
- A H A-B L Sヘルスケアプロバイダーコース講習会及びI C L S講習会の開催
- 県民医療枠、地域医療枠医師対象ヒアリングの実施及びキャリア形成計画の作成
- 医師臨床研修指導医講習会の開催
- スキルスラボの充実
- 家庭医療専門医(総合診療専門医)後期研修プログラムの運用
- プライマリ・ケアセミナー及び勉強会の開催
- 和歌山研修ネットワーク事務局の運営

## 情報発信と相談への対応

- 和歌山県内専門研修プログラム合同説明会の開催
- 高校訪問による和歌山県立医科大学医学部募集枠説明会の実施
- 県内医療機関に就業を希望する医師に対する斡旋・相談の実施
- 医学部オープンキャンパスでの地域医療に対する情報発信の実施
- 出前授業及び地域医療学講義の実施
- 地域医療支援センターパンフレットの作成
- ホームページ、Facebookの運用

## 運営委員会

- 運営委員会の開催

# 年間スケジュール

4月

## AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース



5月

## 地域医療枠・県民医療枠 新入生説明会



6月

## 第1回キャリア形成支援セミナー



## 地域医療枠セミナー





7月

### 第1回プライマリ・ケアセミナー



### 副知事訪問



### 第2回キャリア形成支援セミナー



### 和歌山県内専門研修プログラム合同説明会



### 病院研修



### 医学部オープンキャンパス



8月



10月

### 紀伊半島地域医療連絡協議会



11月

### 第2回プライマリ・ケアセミナー



12月

### 県民医療枠セミナー



### 医師臨床研修指導医講習会





1月

### 第3回プライマリ・ケアセミナー



2月

### 第1回 I C L S 講習会



### 第2回 I C L S 講習会



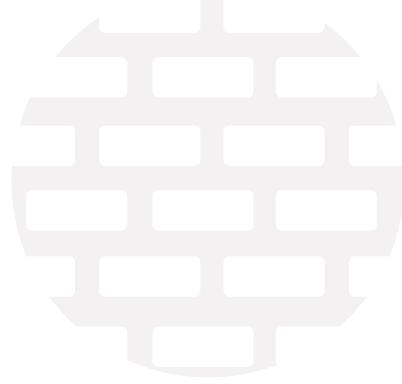
3月

### 県民医療枠研修



### 和歌山県地域医療支援センター運営委員会





## 和歌山県内の医療情報の分析

■ 平成26年度より救急車搬送事象等の救急医療体制など医療供給体制の分析を開始

■ 地域医療構想調整会議（協議の場）にオブザーバー参加し、助言等も実施

■ 学術集会での発表を実施

- ▶ 和歌山県における二次保健医療圏単位での中等症以下の救急事象を対象とした搬送実態  
(2016年日本地理学会秋季学術大会)
- ▶ 和歌山県における二次医療圏を再検討するコミュニケーションの基盤構築に向けた課題  
(第75回日本公衆衛生学会総会)
- ▶ Major Diagnostic Category分類別に評価した二次医療圏設定範囲の妥当性の検証  
(第75回日本公衆衛生学会総会)

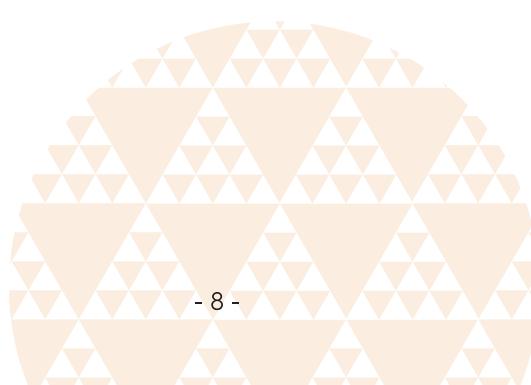
和歌山県における二次保健医療圏単位での中等症以下の救急事象を対象とした搬送実態

熊谷 美香, 北野 尚美, 上野 雅巳

2016年日本地理学会秋季学術大会（9月30日～10月2日於：東北大学）

### 【概要】

救急隊による判断が中等症以下であった救急事象に焦点を当て、平成26年に和歌山県内で発生した救急事象の実態を県全体及び現行の二次保健医療圏域の単位で明らかとした。Major Diagnostic Category分類など疾患群別に救急搬送の特徴を把握することは、改善のために介入可能な課題の発見に有用である可能性を示した。





## 和歌山県における二次医療圏を再検討するコミュニケーションの基盤構築に向けた課題

熊谷 美香, 北野 尚美, 上野 雅巳, 貴志 幸生

第75回日本公衆衛生学会総会（10月26日～28日於：グランフロント大阪）

### 【概要】

より良い地域包括ケアシステムの構築に向けて、データに基づいたコミュニケーションを促進するために必要な要素について検討した。

## Major Diagnostic Category分類別に評価した二次医療圏設定範囲の妥当性の検証

道場 浩幸, 北野 尚美, 熊谷 美香, 上野 雅巳

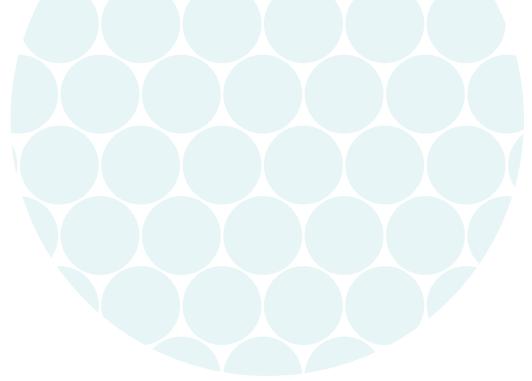
第75回日本公衆衛生学会総会（10月26日～28日於：グランフロント大阪）

### 【概要】

和歌山県内の二次保健医療圏で、2年間に発生した15歳以上の救急事象について、搬送記録の診断病名を参考にMDCで分類して救急事象を分析した。救急事象の搬送に関する特徴をMDC分類別に明らかにした。



# 医師不足医療機関の支援 緊急時医師派遣・若手医師支援



## 地域医療学講座・医師配置

和歌山県立医科大学の医師（指導医）が自治医科大学や地域医療枠等を卒業した若手医師が勤務する医師不足医療機関にローテーションで出向する仕組みを構築し、指導医は出向先である当該医療機関で勤務して地域医療の充実に貢献するとともに、同じく勤務する若手医師の指導を行った。

### ■ 緊急時医師派遣・若手医師支援（地域医療学講座による指導医の配置）

有田市立病院内科	12ヶ月（2名）
国保すさみ病院内科	6ヶ月（1名）
橋本市民病院内科	12ヶ月（1名）
高野山総合診療所内科	6ヶ月（1名）

### ■ 医師配置状況（平成28年4月1日現在）

県内公的病院等	361名
---------	------

## 地域医療機関医師適正配置検討委員会

地域医療機関からの新規の常勤医師紹介要請に対して、支援の必要性について審議する「地域医療機関医師適正配置検討委員会（平成25年設置）」を学内に設け、大学として一元的に対応した。

〈参考：平成28年度における本委員会の活動状況〉

医療圏	要請件数		委員会で必要と判断した件数		紹介件数	
	医療機関数	人数	医療機関数	人数	医療機関数	人数
和歌山	1	4	0	0	0	0
那賀	0	0	0	0	0	0
橋本	2	7	2	6	0	0
有田	2	4	2	2	0	0
御坊	1	7	0	0	0	0
田辺	0	0	0	0	0	0
新宮	3	13	1	9	0	0
その他	1	1	0	0	0	0
合計	10	36	5	17	0	0

## 遠隔医療支援システム

インターネット回線を使用して、和歌山県立医科大学と遠隔地の医療機関を結ぶネットワークを運用し、遠隔外来支援、遠隔講義聴講を実施するなど和歌山県内の地域医療を支援した。



システム端末



- 平成25年度末までに本学と県内13公的医療機関にシステム端末を設置
  - 平成27年度末には、平成28年度から地域医療枠医師が勤務する紀南病院を含め、新たに3医療機関にシステム端末を設置
  - 研修・教育体制を整備するため、ポータブル型の端末も導入

遠隔外來

和歌山県立医科大学から遠い地域に住む県民が地元の医療機関で和歌山県立医科大学附属病院の専門医のアドバイスを受けることが可能となる遠隔外来を実施した。

平成28年度は、実施枠を15診療科26専門外来に拡大するとともに、システム端末を試験的に設置したへき地診療所等（日高川町国民健康保険川上診療所、日高川町国民健康保険寒川診療所及び北山村診療所）における遠隔外来のモデル実施も行った。

- システム端末設置医療機関との協定の締結や和歌山県立医科大学における実施診療科の選定等を経て、平成26年7月11日から実施
  - 平成28年度は、神経内科（計1回）、皮膚科（計7回）、脳神経外科（計2回）リハビリテーション科（計12回）、泌尿器科（計1回）の外来を実施
  - 遠隔外来広報チラシ及びポスターを作成したほか、ホームページや回覧板による周知、病院広報誌「まんだらげ」や県民の友・各市町広報紙（計10紙）に記事を掲載
  - システム端末設置医療機関を訪問し、個別説明を実施



遠隔医療支援システム検査医療機関一覧		登録番号	TEL
東京市立病院	（代）	0736-37-1200	
和泉山病院・東芝医療器記念病院	事務室	0736-22-8304	
高麗山総合病院	事務所	0736-56-2911	
父島病院	看護部	0736-56-2911	
御岳医療センター	事務部	073-482-4521	
御嶽山・上野原の病院	事務部	073-483-5100	
有馬病院	医療部	0737-82-2151	
御嶽山・上原・立正病院組合「御嶽山病院」	事務部	0736-22-3100	
御嶽山病院	事務部	0736-22-1111	
御岳山・立正病院組合「御嶽山・成道センター」	事務部	0739-26-7050	
御嶽山みどり会	事務部	0739-56-2065	
御嶽市立病院	社会衛生課	0735-52-1065	
御嶽市立医療センター	社会衛生課	0736-31-3333	

平成28年度遠隔外来実施枠



## 遠隔講義聴講

地域医療枠医師が地域の医療機関での勤務を開始したことに対応し、和歌山県立医科大学まで来ることなく勉強会に参加できるように遠隔医療支援システムによる配信を月1回定例的に実施した。

また、和歌山県立医科大学で開催される講演会やセミナー等をシステム端末設置医療機関の希望に応じて配信するなど、最新の医療情報等をより広く早く伝えることにより、地域医療を支援した。

- 平成28年度より当センター主催の「プライマリ・ケア勉強会（医師向け）」の配信を開始（受講できなかった医師のために録画も実施）
- 地域医療枠医師や自治医科大学卒業医師が自主的に実施する勉強会でも活用
- 平成28年12月及び平成29年3月には、県臨床検査技師会がセミナー等で利用
- 平成27年度に引き続き、和歌山県立医科大学臨床研究センター主催の「臨床研究セミナー」の配信や和歌山県立医科大学附属病院内の研修会や検討会の配信等で利用
- 平成28年度は10医療機関が利用



## 和歌山県遠隔医療推進検討委員会

遠隔医療の更なる推進のため、和歌山県遠隔医療推進検討委員会に参加するとともに、各種モデル実施計画に協力した。

また、和歌山県・和歌山県立医科大学・NTTドコモによる5G（第5世代移動通信システム）を活用した遠隔医療分野における実証試験の実施計画作成にも協力した。



# 医師のキャリア形成支援 地域医療従事医師の養成

## AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース

和歌山県内の臨床研修病院で採用された研修医を一堂に集め、研修医の交流と心肺蘇生の確実な実技取得を目的に講習会を開催した。

平成28年度については、平成28年4月6日（水）に開催し、成人及び小児・乳児の心肺停止に対する初期対応を身につけるため、AED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生法（CPR）や窒息の解除方法などを学ぶ1日コースとして実施した。

講習会には、和歌山県立医科大学附属病院、日本赤十字社和歌山医療センター、紀南病院、橋本市民病院、和歌山労災病院、新宮市立医療センター、国保日高総合病院から新規採用臨床研修医（医師及び歯科医師）合計108名が受講し、全員が修了してヘルスケアプロバイダー資格を取得した。



## 新入生説明会

平成28年4月26日（火）、地域医療枠及び県民医療枠新入生に対して枠別に説明会を実施した。地域医療枠と県民医療枠について、それぞれの医学部募集枠の趣旨を新入生に詳しく説明・再認識を促すとともに、卒前卒後のキャリア支援を地域医療支援センターが窓口となって行っていくこと、各種プログラムや制度等について説明した。

また、ドクターヘリの見学や地域医療支援センターの施設説明を行った。



### 地域医療枠

プライマリ・ケアを実践し、高い総合的診療能力を有する医師及び医学研究者を育てます。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち、5年間はへき地医療拠点病院等を中心に研修を行います。

### 県民医療枠

和歌山県の地域医療に携わるとともに、国際的にも医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を育てます。

卒業後9年間の期間中、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行います。

## キャリア形成支援セミナー

キャリア形成支援を目的として実施した。参加者合計30名。

### 第1回

平成28年6月10日（金）

テーマ：海外で研究者として生きる～循環器内科医・疫学者の経験～

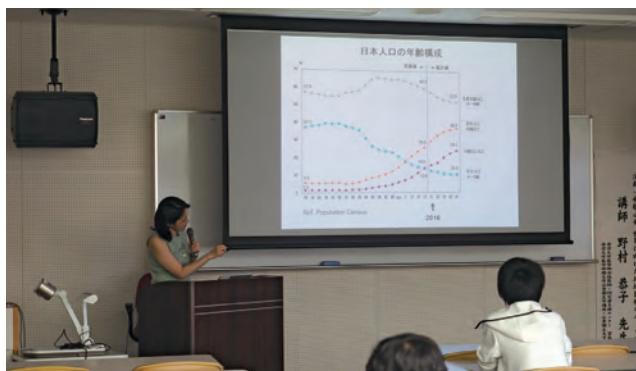
講師：ジョンズ・ホプキンス大学 准教授 松下 邦洋 先生

### 第2回

平成28年7月11日（月）

テーマ：和歌山発 世界に向けた地域医療のキャリア形成

講師：帝京大学医学部女性医師・研究者支援センター室長 野村 恵子 先生



## 地域医療枠セミナー

平成28年6月13日（月）、地域医療枠1～5年生を対象にセミナーを開催し、島副センター長及び遠隔医療支援システムを利用して地域医療枠一期生の医師による講演会を実施した。

また、病院研修の説明を実施するとともに実習先を決定した。



### 学生の意見、感想

- 先輩から話を聞くことで研修時代、学生時代にすべきことや考えておくべきことがわかった。
- 実際に地域医療枠の先輩から話を聞くことで、自分が将来どのように働くのかを考える良い機会となった。
- 内科を回って、その経験をいかせたらいいなと思った。

## 和歌山県副知事表敬訪問

平成28年7月11日（月）、地域医療枠及び県民医療枠の6年生29名が卒業後9年間の和歌山県での研修に入るにあたり和歌山県庁を訪問し、下副知事から激励を受けた。



## 病院見学（県民医療枠）

県民医療枠の学生が卒業後に勤務する県内公的医療機関を見学した。

### 平成28年度見学先（県民医療枠4年生、見学希望者 計25名）

・橋本市民病院	2名	・済生会有田病院	1名
・公立那賀病院	2名	・南和歌山医療センター	11名
・和歌山労災病院	5名	・紀南病院	2名
・海南医療センター	2名		

### 学生の意見、感想

- 今回の見学では、ある程度の医学的知識を持った状態であるので、1年生の際に行かせていただいたいEarly Exposureと比べ、より積極的にかつ医学的な姿勢で臨むことができたと思います。具体的には、先生方がおっしゃることに対し、医学的知識を踏まえた質問ができるので、先生方が臨床で培われた「生きた知識」をその場で実際の症例を前に教えていただくことができ、非常に勉強になり、モチベーションも上がりました。
- 見学当日が手術日で1日中手術の見学をさせていただきました。5件の手術では、帝王切開や子宮筋腫など教科書では分からぬ実際の部位も見せていただき、すごく勉強になりました。手術を1日5件、朝から立ちっぱなしでずっと行い続ける医師の体力の強さに驚きました。見学できたことは、自分の中で良い経験になったと思います。
- 何科に進むかなどが全然決まっていなかったため、病院全体の見学をさせていただいた。地域の基幹病院の施設や役割などを知ることができ、また、行ったことのない地域に行くことができ、大変有意義な病院見学となった。

## 病院研修（地域医療枠）

平成28年8月18日（木）～20日（土）、和歌山県立医科大学地域医療枠及び自治医科大学の学生が合同で県内へき地等の医療現場で実習・見学を行い、地域医療の魅力や特性を理解し、地域医療に従事する医師の役割及び責任について認識を深めた。

19日（金）には、すさみ町において両大学合同で白浜町国民健康保険川添診療所 中川 武正 名誉所長による講演会（演題：へき地診療所での9年半）を実施するとともに、交流会を開催して学生間や先輩医師との交流を促進した。

研修最終日の20日（土）には、地域医療枠学生を対象に同じくすさみ町において地域医療枠一期生及び自治医科大学卒業医師を講師に招いてグループワーク、実習発表会を行った。

参 加 者 和歌山県立医科大学地域医療枠1～5年生・・・30名

(その他、地域医療枠6年生から2名参加あり)

和歌山県出身自治医科大学1～5年生・・・・・・11名

研修内容 地域医療枠1～3年生・・・・・・・・・・・・病院見学

(新宮市立医療センター、くしもと町立病院)

地域医療枠4～5年生、自治医大1～5年生・・診療所等での実習

(高野山総合診療所、国保野上厚生総合病院、にしもと内科クリニック、  
紀美野町国民健康保険国吉・長谷毛原診療所、日高川町国民健康保険  
川上・寒川診療所、田辺市大塔三川・富里診療所、白浜はまゆう病院、  
国保すさみ病院、那智勝浦町立温泉病院)





## 学生の感想

### 〈実習〉

- 診療所では患者との距離が近く、地域医療に従事する医師として身につけなければならないものをつけめたように思う。
- 訪問看護にも同行させていただき、内容をそばで見ることができ、また、看護師の方々のお話もたくさん聞くことができたので、改めて地域医療について考える良い機会になりました。
- 初めて診療所へ実習に行き、採血や膝関節の水抜きなど、大学のポリクリではなかなかさせていただけないことが経験できました。

### 〈見学〉

- 病院やその周辺の様子を知るだけでなく、地域医療の現状と課題も教えていただき、理解を深めました。
- 各病院の地域の中における役割がよく分かりました。地域の病院はどのような患者が多いのか、医師として何をしなければならないのかといったことも知ることができました。
- 将来自分が行くであろう病院のことを知れたことは、とても良い経験になった。

## キャリア形成計画（ヒアリング）

地域医療枠、県民医療枠学生及び医師のキャリア形成支援の一環として、県の委託を受けて面談・ヒアリングを実施した。

- 平成28年9月に地域医療枠医師及び勤務先指導医に対してヒアリングを実施

地域医療枠医師勤務先 : 橋本市民病院  
(センター教職員訪問先) 国保野上厚生総合病院  
紀南病院  
新宮市立医療センター

- 同10月に県民医療枠医師に対して指導医とともにヒアリングを実施し、個人毎にキャリア形成計画（卒業後3年目以降の勤務先病院）を作成・更新

- 地域医療枠及び県民医療枠6年生に対して卒業後の進路に関する面談を実施するとともに、6年生以外にも必要に応じて隨時実施

- このほか、県民医療枠学生及び医師に関する個別事案への対応手順を定め、入学時に誓約している卒業後9年間のキャリア形成を本学及び地域中核病院で行うこと等に関して、義務の猶予等の申し出等があった場合、適切に対応できる体制を構築・運用

## 紀伊半島地域医療連絡協議会

三重大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学の3県の医学部生、初期臨床研修医、教員等が一堂に会し、紀伊半島の地域医療、特にべき地医療について協議することにより、連携体制を構築するとともに、地域医療に貢献する医療人を育成することを目的として毎年輪番制で開催しており、平成28年度については奈良県において開催された。

平成28年10月1日（土）、2日（日）、地域医療枠学生・医師（研修医）及び自治医科大学卒業医師（研修医）と共に参加し、三重県及び奈良県の大学・行政関係者と意見交換等を行った。参加者46名。

<b>1日目</b>	13：15～	講演会「南奈良総合医療センター開院に伴う南和地域医療の変貌」 講師 南奈良総合医療センター院長 松本 昌美 先生
	17：15～	コーディネーター会議 ・地域枠医師の適正配置とキャリア形成について ・地域枠学生のモチベーション維持について
<b>2日目</b>	9：00～	ケースカンファレンス「肺炎診療Up To Date」 講師：奈良県立医科大学 感染症センター 笠原 敬 先生
	10：00～	グループワーク



## 県民医療枠セミナー

平成28年10月21日（金）、和歌山県福祉保健部健康局医務課医療戦略推進班 貴志 幸生 課長補佐による講演会及び県民医療枠4年生による病院見学の報告会を実施した。参加者112名。

### 講演会



### 病院見学報告会



### 学生の感想

- 県外出身なので、今回の講演を聞いて、和歌山県の多くの魅力に気づいた。
- 和歌山県の地域の実情を詳しく聞くことができて非常に良かった。
- 病院ごとに特徴があり、異なる雰囲気を知ることができた。

## 医師臨床研修指導医講習会

平成28年12月10日（土）、11日（日）、初期臨床研修医を指導する指導医を養成するとともに、臨床研修指導医の資質向上及び臨床研修を行う病院における適切な指導体制の確保に資するため、和歌山県内の病院に勤務する医師を対象とした医師臨床研修指導医講習会を開催した。

筑波大学地域医療教育学、同附属病院 総合臨床教育センター・総合診療科 教授・部長 前野 哲博先生を主催責任者に迎え、厚生労働省が定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に則った講習会として実施した。

講習内容は、「研修指導で困っていること（KJ法）」、「研修医のプロフェッショナリズム教育」、「安全で効果的な臨床技能教育」、「効果的なカンファレンスの進め方」、「指導医に求められる役割」、「研修医のメンタルヘルスケア」、「フィードバックとは」、「医師臨床研修制度の理念と概要」等であり、講義やグループワークを交え、2日間で合計16時間の講習を44名が修了した。



### 受講者の感想

- ロールプレイ等、参加型の研修は良かった。
- 他科、他病院の先生と研修医制度についていろいろ意見を共有できた。
- 自分自身を振り返るいい機会となり良かった。

## ICLS講習会

平成29年2月26日（日）及び3月19日（日）、卒業後3年目以降順次地域の医療機関で勤務を開始することになる地域医療枠及び県民医療枠医師等の能力向上を図るため、研修医2年目を対象として講習会を開催した。

臨床研修開始にあたり、AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコースを受講して一次救命措置(BLS: Basic Life Support)を習得した研修医2年目が、二次救命措置（ALS:Advanced Life Support）の技能を習得した。

### 平成28年度第1回ICLS講習会

平成29年2月26日（日） 9：00～17：00



### 平成28年度第2回ICLS講習会

平成29年3月19日（日） 9：00～17：00



## 県民医療枠研修

平成29年3月22日（水）、県民医療枠1年生を対象に病院見学を実施するとともに、田辺市長を表敬訪問するなど地域の病院や特性等について理解を深めた。参加者31名。

また、研修の最後には、県民医療枠一期生も参加した交流会を開催し、同期生や先輩医師との親睦を深めた。



### ●見学先

紀南病院：内科、小児科、整形外科、泌尿器科、循環器内科 合計15名

南和歌山医療センター：呼吸器外科、外科、整形外科、脳神経外科、救命救急科 合計16名

### 学生の感想

- 紀南地域の医療についてあまりよく知らなかったので、知る機会になって良かったです。紀南病院と南和歌山医療センターで果たす役割に棲み分けがあるところが合理的で良いと思いました。
- 救命救急科では忙しくてあまり説明などはしていただけないと思っていたが、ちょうど救急車が来たので、いろいろ詳しく丁寧な説明をしていただくことができました。特に、救急車で来られた患者さんの処置をするところを見学できたり、CTの画像も見せてもらいながらCTの説明を聞いたり、その患者さんがどうして治療にCTをとる必要があったのかなど、普段どのようにして病気の原因を見つけているかなどを教えてもらうことができたので、とても興味深く、また感動しました。
- 交流会では、研修を終えた県民医療枠の先輩方の話もいろいろと聞け、今やっておいた方が良いことや将来役に立つことを聞くことができました。
- 今まででは南の方で働くことに抵抗がありましたが、それも選択肢の一つだなと思えるようになりました。
- 普段、手術を見る機会はほとんどないので、貴重な体験ができる非常に良かったです。  
今後、勉強をしてからまた見てみたいです。

## 家庭医療専門医（総合診療専門医）後期研修プログラム

平成26年度に作成した家庭医療専門医（総合診療専門医）後期研修プログラムの周知を図るため、平成28年6月には「第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会」、同7月には「和歌山県内専門研修プログラム合同説明会」に参加するなどの広報活動を行った。



## プライマリ・ケアセミナー

総合的な診療能力を有する医師に必要となる知識や技能を学ぶとともに、総合診療についてより理解を深めることを目的とし、総合診療に携わる指導医、総合診療に興味のある学生及び研修医等を対象にプライマリ・ケアセミナーを開催した。

平成28年度については3回開催し、合計69名が参加した。

### 第1回

平成28年7月2日（土）

テーマ：地域で活躍できる総合診療医の育成について

講 師：大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座 特任教授

大阪医科大学附属病院総合診療科 科長 鈴木 富雄 先生



### 第2回

平成28年10月9日（日）

テーマ：T&Aマイナーエマージェンシーコース

講 師：広島大学大学院脳神経内科学 松原 知康 先生



### 第3回

平成29年2月11日（土）、12日（日）

テーマ：PTLS (Primary-care Trauma Life Support) 講習会

講 師：独立行政法人地域医療機能推進機構 東京高輪病院

総合診療研修顧問 箕輪 良行 先生



## プライマリ・ケア勉強会

主に地域医療枠及び県民医療枠学生を対象として「プライマリ・ケア勉強会（学生向け）」を開催するとともに、主に地域医療枠医師及び自治医科大学卒業医師を対象として「プライマリ・ケア勉強会（医師向け）」を開催した。平成28年度は合計24回実施。

医師向けの勉強会については、遠隔医療支援システムを利用して配信を実施した。

### 第1回

平成28年4月11日（月）  
学生向け：オリエンテーション  
医師向け：オリエンテーション

### 第2回

平成28年5月16日（月）  
学生向け：プライマリ・ケアとは？～こんな患者さんが来たらどうする？～  
医師向け：EBM：診断について

### 第3回

平成28年6月6日（月）  
学生向け：プライマリ・ケアとは？～理論的背景。なぜプライマリ・ケアが必要なのか。どう学ぶのか。～  
医師向け：EBM：治療について

### 第4回

平成28年7月25日（月）  
学生向け：医療面接とは？～患者さんとどうやってコミュニケーションをするのか～  
医師向け：検診について



### 第5回

平成28年8月22日（月）  
学生向け：臨床推論  
医師向け：患者中心の医療

### 第6回

平成28年9月12日（月）  
学生向け：身体診察～バイタルサイン～  
医師向け：患者中心の医療の方法



### 第7回

平成28年10月3日（月）  
学生向け：身体診察～聴診・触診～  
医師向け：糖尿病の診断

### 第8回

平成28年11月7日（月）  
学生向け：身体診察～視診、神経系～  
医師向け：高血圧の外来診療



### 第9回

平成28年12月12日（月）  
学生向け：診断について  
医師受け：脂質異常症をどう考えるか

### 第10回

平成29年1月30日（月）  
学生向け：これまでの振り返り  
医師向け：うつ病



### 第11回

平成29年2月20日（月）  
学生向け：小児の救急医療  
医師向け：気管支喘息の慢性期管理

### 第12回

平成29年3月13日（月）  
学生向け：小児の救急医療2  
医師向け：熱生けいれん～診断、治療～

## 和歌山研修ネットワーク事務局の運営

“和歌山研修ネットワーク”とは、和歌山県内9つ全ての基幹型臨床研修病院（大学病院を含む。）が相互に協力型病院となることにより、病院や診療科の選択肢を広げた臨床研修プログラムであり、当センターで事務局運営を実施し、研修医受入可能人数等を照会するなどネットワークを円滑に運用した。

平成28年度の利用件数は338件（月単位で利用件数を集計）

## 選択制臨床実習の支援及びスキルスラボの充実

選択制臨床実習の期間に本学医学部6年生が地域の病院で行う実習の支援や若手医師が手技等を練習する場所であるスキルスラボの充実を図った。



# 情報発信と相談への対応

## 和歌山県内専門研修プログラム合同説明会

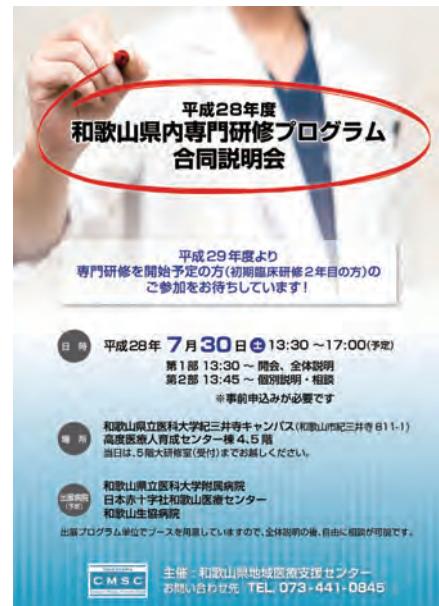
平成28年7月30日（土）、平成29年度より後期（専門）研修を開始予定の初期臨床研修医を対象に合同説明会を開催し、県内の医療機関が作成する専門研修プログラムの周知を図った。参加者33名。

全体説明及び質疑応答等のあと、プログラム単位で設置したブース（個室）において、個別相談も行った。

出展病院： 和歌山県立医科大学附属病院  
(内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、救急科、リハビリテーション科、総合診療)

日本赤十字社和歌山医療センター  
(内科、小児科、救急科)

和歌山生協病院（総合診療）





## 高校訪問

和歌山県立医科大学医学部に入学実績のある和歌山県内の高校 11 校を訪問し、高校生及び進路指導担当教員等 242 名に対し、和歌山県立医科大学医学部募集枠を正しく理解したうえで受験できるように募集枠等について説明を行った。

生徒からは、「県民医療枠でも総合診療専門医は取れるのか」「海外留学へは卒後 9 年の間で行けるのか」「地域医療枠の勤務先は希望できるのか」「へき地で働くためのプログラムやサポート体制はあるのか」「地域医療枠は専門医の取得がどれくらい遅れるか」等の質問があった。

- ・平成 28 年 5 月 13 日（金） 近畿大学附属和歌山高等学校 受講者：41名
- ・平成 28 年 5 月 23 日（月） 和歌山県立新宮高等学校 受講者：14名
- ・平成 28 年 6 月 1 日（水） 近畿大学附属新宮高等学校 受講者：21名
- ・平成 28 年 6 月 8 日（水） 開智高等学校 受講者：24名
- ・平成 28 年 6 月 15 日（水） 和歌山県立日高高等学校 受講者：14名
- ・平成 28 年 6 月 16 日（木） 和歌山県立桐蔭高等学校 受講者：56名
- ・平成 28 年 6 月 20 日（月） 智辯学園和歌山高等学校 受講者：31名
- ・平成 28 年 7 月 4 日（月） 和歌山県立田辺高等学校 受講者：22名
- ・平成 28 年 7 月 7 日（木） 和歌山県立向陽高等学校 受講者：7名
- ・平成 28 年 7 月 20 日（水） 和歌山信愛高等学校 受講者：8名
- ・平成 28 年 9 月 5 日（月） 和歌山県立橋本高等学校 受講者：4名



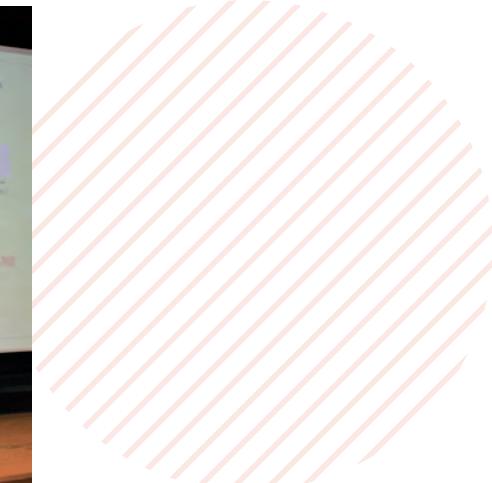
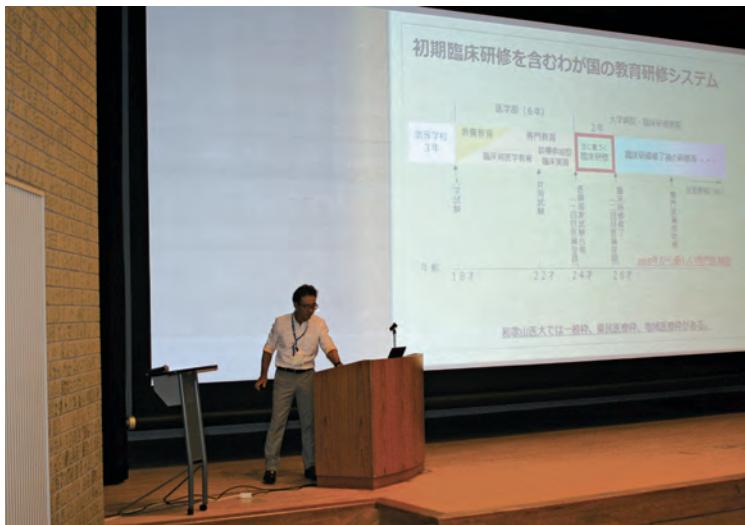


## オープンキャンパス

平成28年8月20日（土）、地域医療への関心を深めてもらうため、和歌山県立医科大学医学部オープンキャンパスに参加した。

平成28年度の医学部オープンキャンパスには、324名の高校生が参加し、上野センター長が「和歌山の医療の現状」について説明した。

また、大学生協カフェテリアにおいて、「地域医療枠・県民医療枠説明会」を実施した。





## 出前授業

和歌山県内の小学校、中学校及び高等学校からの希望に応じ、教員が直接出向く「出前授業」に参加した。

平成28年9月16日（金）には和歌山県立新宮高等学校の生徒24名に対し、また、平成28年10月17日（月）には開智高等学校の生徒34名に対し出前授業を実施した。

このほか、平成28年7月14日（木）には地域医療を学ぶ一環で来訪した和歌山信愛高等学校の生徒48名に対し講義等も実施した。



## 地域医療学講義

和歌山県立医科大学医学部2～4年生には、「地域医療学」の講義やグループワークを実施した。





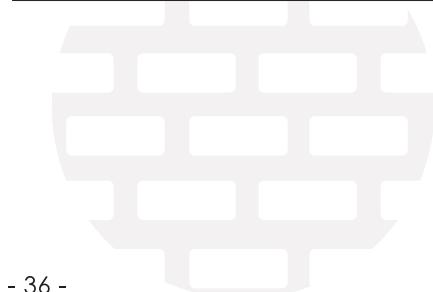
## 報告書等の作成

地域医療支援センター活動報告書、地域医療枠便覧、県民医療枠便覧、地域医療枠病院研修報告書、遠隔外来広報チラシ及びポスター等を作成した。



## ホームページ・Facebook の運用

地域医療支援センターホームページやFacebookを通じて、随時活動状況を発信した。  
また、ホームページの更新を行った。





## 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1  
TEL : 073-441-0845 FAX : 073-441-0846

### ■ アクセスマップ



### ■ センター配置図



- JR紀三井寺駅 → 徒歩（約10分）
- JR和歌山駅 → バス・タクシー
- 南海和歌山市駅 → バス・タクシー
- JR和歌山駅前  
1番のりば「医大病院」行 約25分  
2番のりば「医大病院」行 約30分

- 南海和歌山市駅前  
1番のりば「医大病院」行 約30分  
8番のりば「医大病院」行 約30分  
9番のりば「医大病院」行 約30分

平成29年9月発行

発行 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター センター長  
和歌山県地域医療支援センター センター長

教授 上野 雅巳